

Sire

サイア

発行所／一般社団法人 ジェネティクス北海道

発行人／石村 正志 令和4年5月16日号

Vol.455

5月

CONTENTS

- 2 GH家畜改良顕彰（ホルスタイン種・黒毛和種）受賞者紹介
- 3 SNS紹介
- 4 第4回GH絵画コンテスト
- 6 現場レポート① 極上ミルクを味わい尽くす！
～鹿追町 十勝高田牧場～
- 8 小岩先生コラム プロトセカ乳房炎－藻類の感染－
- 10 現場レポート② 種雄牛への第一歩
- 12 現場レポート③ 鹿児島全共を目指して
～鹿児島県鹿屋市輝北町 石神農場～
- 14 新人紹介



……………ホルスタイン種 家畜改良顕彰……………

改良に顕著な貢献をした優秀種雄牛の生産者に対する顕彰制度に基づき、この度の種雄牛評価成績2022-2月の総合指数(GNTP)上位40位以内に新しくランキングされた1頭の国産種雄牛の生産者を顕彰いたしました。

GNTP第36位

JP3H57891 フィールドハギ ブラウニー スピリット ET

湧別町 (株)SEA-LAKE



左から 加藤 智行氏、当団石村専務

過去、JP3H57252「ハイブリッド」、JP3H57255「マエストロ」を輩出している(株)SEA-LAKEよりJP3H57891「フィールドハギ ブラウニー スピリット ET」がデビューいたしました。

(株)SEA-LAKEは法人設立して今年で12年目になります。代表の加藤智行さんが平成18年に実家に戻り酪農を始めてから8年目に立ち上げました。現在では、総頭数約1200頭(育成550頭)、搾乳ロボット8機とパラレルパーラー1台で管理しています。

「スピリット」の母「GTウエーブ スーダン 2ND スヌーヅング ET」は北海道幕別町の山田敏明牧場からSEA-LAKEへと未經産時に導入されました。彼女は2015年5月公表の経産牛NTPにて第56位で登場しましたが、惜しくも初産泌乳途中にこの世を去ってしまいました。当団ではNTP上位のスーダン娘牛として彼女からアウトクロス種雄牛の造成を試み、当時国内最高峰のゲノミック評価のJP3H56660「ブラウニー」により採卵を行いました。その受精卵から伊達市の佐藤和信牧場で誕生したのが「スピリット」になります。異父兄弟にはアウトクロスかつ好乳器のJP3H57255「マエストロ」がおり、ファミリーの特長の乳器改良が強く受け継がれています。

智行さんより「アウトクロスなのでぜひ全国の酪農家の方々に使ってもらえると嬉しいです」とコメントいただきました。

(株)SEA-LAKEの今後の益々のご発展とご活躍をお祈りいたします。

……………黒毛和種 家畜改良顕彰……………

改良に顕著な貢献をした優秀黒毛和種種雄牛の生産者に対する顕彰制度に基づき、当団新規選抜牛1頭の生産者を顕彰いたしました。(R4年2月公表 北海道産肉能力育種価成績において、後代検定が終了かつ供給可能な当団種雄牛のうち、上位5位以内に新たにランキングされた牛、および新規選抜牛を顕彰するものです。)

北海道育種価47位&新規選抜

H黒-303 花勝久

東神楽町 前田牧場



左から JA東神楽 岸本文孝組合長、前田 哲也専務、当団土門常務

前田牧場は乳牛を飼養していましたが、約30年前に乳肉複合に転換されました。現在は乳牛200頭、黒毛和種繁殖素牛40頭飼養し、乳牛には自家採卵した受精卵を移植しているそうです。黒毛和種を飼い始めていろいろな人たちとの出会いがあり、肥育農家の薦めで「花勝久」の母「おおろらひめ」を購入することになったとお聞きしました。

「おおろらひめ」は平成24年9月北海道育種価において脂肪交雑32位に評価されて以降、長期にわたり上位にランクし、平成25年12月と平成26年6月には最高順位の3位となりました。また、祖母「ひもしげばな」もH黒-189「北斗王」やその娘牛からH黒-236「花晴茂」、H黒-244「北翔王」、H黒-257「琥珀」といった多くの種雄牛を輩出している高能力の系統です。

前田さんは当初「肥育農家のために素牛を生産する」という気持ちが強く、種雄牛造成に積極的ではなかったのですが、当時の当団佐藤顧問の「改良は自分のためではなく、人のためにするものだ」という言葉で種雄牛造りを決意されたそうです。

「花勝久」本牛は、発育、体伸に富み、体上線が強く、資質、骨味に優れた種雄牛で、生まれた産子は父に良く似た特徴を持つ素晴らしい子牛が生産されております。前田さんからも「特に雌の脂肪交雑が良いので繁殖素牛として残ってほしい」と期待の言葉をいただきました。

また、当団についても「北海道のトップとして今後も改良を進めていってほしい」と嬉しいお言葉をいただいております。今後も黒毛和種の育種改良に全力で取り組んでいくことをお約束いたします。

今後の「花勝久」の活躍と前田牧場の益々のご発展をご祈念申し上げます。

(道北事業所 吉田 潤嗣)

ジェネティクス北海道 ソーシャルメディア公式アカウント

2022年3月よりInstagramでも当団公式

アカウントの運用を開始しました！

お気軽にお声掛けください。

YouTubeには当団種雄牛の紹介動画や、

娘牛動画、学習動画を公開しております。

こちらもぜひご覧ください。



Instagram
@gh_assoc



Twitter
@gh_assoc



Facebook
@genetics.hokkaido



YouTube
ジェネティクス北海道



フォロー・チャンネル登録 お待ちしております！

第4回GH絵画コンテスト

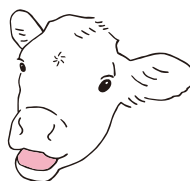


本誌昨年7月号の「第4回GH絵画コンテスト」のご案内から約10ヶ月の応募期間を経て、3月11日に募集を終了いたしました。
総数43作品が集まりました。ご応募いただき本当にありがとうございました。審査の結果、各部から2つの優秀賞が選出されました。(2作品の序列はありません)

◆応募数

未就学児童の部 25作品
小学生の部 14作品
中高生の部 4作品

計43枚の作品を
ご応募いただきました！
たくさんのご応募、誠に
ありがとうございました！



◆審査

3月17日、本誌表紙を手掛ける富田美穂さんと
当団役員、参事、事業推進部部長からなる審査
委員会を形成し、厳正な審査を行いました。
(審査にあたり応募された方のお名前は伏せ
て、作品名・年齢のみで行いました。)



◆入賞作品

未就学優秀賞



「モオオオ～!!」
東京都:増田 光将さん(5才)



評価コメント

色使いが豊富で迫力があり、大きく
開けた口がいかにも叫んでいる感
じがします。

評価コメント

牛の目と耳が印象的で面白い絵で
すね!ママの愛情が伝わってきます。
甘える子牛の表情もよく出ていま
す。



「ママに甘える仔牛」
静岡県:北川 莉帆さん(5才)



小学生優秀賞



神奈川県：奥山 詩織さん(8才)



評価コメント

生まれたばかりの子牛でしょうか？
牛のやさらかさが感じられる絵で、
瞳に吸い寄せられそうです。

評価コメント

ご家族で愛情いっぱいにお世話
している情景が上手に描けていま
す！とても仲良く楽しくお世話して
いる姿が伝わってきますね。



「牛のお世話」

別海町：石井 高晴さん(9才)



中高生優秀賞



「blue sky」
足寄町：北野 のどかさん(13才)

前回の第3回では
小学生の部優秀賞を
受賞されました！
前回優秀賞受賞作品▶
「見つめるジャージー」



評価コメント

細かなタッチで広大な牧場の様子
がわかります。放牧されている牛、青
い空、女の子、ほのぼのとさせてく
れます！

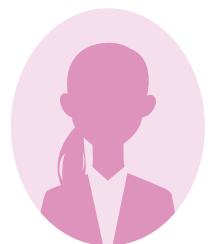
「ゴマちゃん親子」

中標津町：大槻 みちるさん(14才)



評価コメント

親牛も子牛も特長
を捉えていて、独
特のタッチでとて
もよく描けていま
す！子牛の四肢
の曲げ具合がとて
もリアルです。



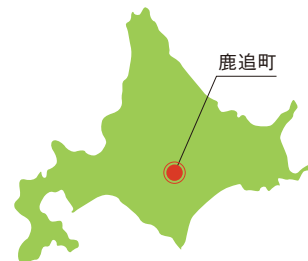
極上ミルクを味わい尽くす！ ～鹿追町 十勝高田牧場～

鹿追町について

鹿追町は北海道の屋根といわれる大雪山系と日高山脈を境として、太平洋に広がる十勝平野の北西部に位置しています。鹿追町といえば北海道で一番標高が高く、天空の湖と呼ばれる「然別湖」が有名です。「然別湖」は、カヌー、フィッシング、キャンプ、フィンランド式のアウトドアサウナ（然別湖畔温泉ホテル風水）や冬には雪と氷だけで作られた建造物が楽しめる然別湖コタンなど、季節を通して「国立公園で遊ぶ」注目のアウトドアスポットとなっています。また、NHK連続テレビ小説「なつぞら」で注目を集めた「神田日勝記念美術館」、「福原記念美術館」といった美術館もあり、芸術に触れることのできる町でもあります。

鹿追町の農業については酪農と畑作が主体であり、一部で混合経営が営まれています。甜菜、馬鈴薯、豆類、小麦などの畑作物はもちろん、キャベツやアスパラガスなどの野菜の栽培にも力を入れており、酪農においては生乳生産量が十勝でもトップクラスの年間11万トンを誇ります。また、鹿追町内で生産される乳雄仔牛（交雑種を含む）のみを一貫肥育し生産している「とかち鹿追牛」など、多くの鹿追ブランドを展開しています。

今回はその鹿追町でNON-GMO飼料（非遺伝子組み換え飼料）を給与し、ジャージー種を飼養している十勝高田牧場さんを訪問させていただきました。



十勝高田牧場



取材にご協力いただいた代表の高田泰輔さんは当牧場の4代目。入植から現在まで、70年以上続いている歴史ある牧場です。現在の耕地面積は牧草地、デントコーン畑合わせて55haで、ホルスタイン種約200頭（搾乳牛105頭）、ジャージー種約60頭（搾乳牛23頭）をご家族と従業員の方、併せて6名で飼養しています。元々はつなぎ牛舎でホルスタイン種のみを飼養していましたが、共進会でジャージーの魅力に惹かれたご家族と協議の末、2011年にジャージー種の導入に至ったそうです。

以前から共進会へ積極的に参加していたこともあり、2015年には全日本ホルスタイン共進会ジャージー種未経産で準名誉賞を受賞され、その他にも十勝管内や北海道のブラックアンドホワイトショー、ナショナルショーなどで多くの賞を受賞されています。

ジャージー種の頭数が増えてきたことから2017年にジャージー種専用牛舎を建築、ジャージー種の分別搾乳が開始されると同時に、NON-GMO飼料の給与も開始されました。2019年には帯広市にある乳製品製造工場「(有)十勝ミルキー」様へのジャージー種の生乳出荷が始まり、現在ではジャージー牛乳をはじめ、「ジャージーブラウン」というブランドのもと様々なスイーツやバターが生産・販売されています。

今回はその中からおすすめの商品をご紹介します！

「ジャージーブラウン」おすすめ商品



十勝搾りたてジャージー牛乳

一般的にジャージー牛乳は乳脂肪分や乳タンパク質が高く、濃厚でコクのある味が特徴であると言われていいます。実際に飲んでみると、口触りが滑らかで後味にコクと甘みがありつつも、濃厚過ぎずスッキリとした味わいでとっても美味しいです！

フローズンヨーグルト

独自のフリージング製法で1mlの中に約2億個以上もの乳酸菌が含まれているフローズンヨーグルト。安定剤・乳化剤・着色料・香料は一切不使用。シャーベットのような質感で酸味がありさっぱりとしたお味です。これは夏に食べたくなる一品!また、ミルク味とストロベリー味のアイスクリームも販売されており、ミルクの自然な甘みで飽きのこない美味しさです。こちらもぜひお試しください。



十勝ジャージーカッサータ

カッサータはナチュラルチーズと牛乳、生クリームをベースにぶどう、クランベリーなどのドライフルーツとアーモンド、カシューナッツが贅沢に使われたイタリア発祥の伝統的なアイスチーズケーキです。チーズの濃厚でコクのある味と、ドライフルーツの酸味やナッツの香ばしさが絶妙にマッチしています。レアチーズケーキ好きの方にはたまらない逸品です。

ご紹介したこれらの商品はジャージーブラウンの店舗またはHPからご購入いただけます!さらに、帯広で新たな店舗「帯広市でジャージー牛が味わえるCafe&Bar ショコラ」が5月10日(火)にオープンされました!! 昼営業が11:00~14:00、夜営業が18:00~24:00の予定となっておりますので、ランチ・ディナーはもちろん2次会やメパフェにもご利用いただけます。Cafe&Bar ショコラではジャージー牛のお肉も楽しめますので、乳製品だけでなく、ステーキやソーセージなどの肉製品もぜひご賞味ください。

また、十勝高田牧場さんのホルスタイン生乳は生産者指定よつ葉牛乳として各地スーパーで販売されています。この生産者指定よつ葉牛乳は、NON-GMO飼料を使用して乳牛を育てている、北海道十勝管内の14戸の生産者の牧場で搾られた生乳のみを限定使用している牛乳です。見かけた際はぜひお手にとってみてください。



最後に



土壌環境にもこだわり上質な粗飼料の生産、徹底した個体管理で健康で丈夫な牛づくりを目指している高田牧場さんですが、今後は「生乳の生産調整など不安定な酪農情勢を踏まえて、ホルスタインの頭数は現状維持し、量よりも乳成分を重視し質を高めていきたい。ジャージーについては頭数を増やし、さらに6次化を進めていきたい」とおっしゃっていました。

最後に、お忙しい中取材に快くご協力くださいました高田泰輔様にお礼申し上げますとともに、今後のご活躍とご発展をお祈り申し上げます。

(十勝北見事業所 柴田 実依)

■十勝高田牧場

〒081-0228 河東郡鹿追町美蔓西18線21番地50
TEL:0156-66-4887 URL:<https://takada-farm.info/>



■味想百盛オンラインショップ

URL:<https://www.ajiomoi.com/> (肉製品の取り扱い)



■ジャージーブラウン

URL:<https://jerseybrown.jp/> (乳製品の取り扱い)



帯広市でジャージー牛が味わえる

Cafe&Bar ショコラ【5/10㊤NEWオープン!】

店舗1

〒080-0011 帯広市西1条南9丁目3-1

TEL/FAX:0155-66-8666

営業時間 11:00~14:00/18:00~24:00

店舗2

KEY'S CAFÉジャージーブラウン帯広店

〒080-0015 帯広市西5条南34丁目12番地

TEL:0155-67-1505 営業時間 11:00~19:00(L018:30)

店舗3

ジャージーブラウン新千歳空港店

新千歳空港ターミナルビル連絡施設3F

TEL:0123-46-2236 営業時間 9:00~20:00

小岩先生コラム

第8回

プロトセカ乳房炎 — 藻類の感染 —

ジェネティクス北海道アドバイザー 小岩 政照 獣医学博士

1975年 酪農学園大学獣医学科卒業後、
酪農学園大学獣医学科内科学教室助手
1980年 (旧)千歳農業共済組合 診療係長
1993年 (旧)石狩農業共済組合 江別診療所長、のち北部統括所長
1995年 酪農学園大学 附属家畜病院 助教授を経て、教授
2004年 酪農学園大学 獣医学部 教授(副病院長)
2011年 酪農学園大学 附属農場 農場次長を経て、農場長
2014年 酪農学園大学 フィールド教育研究センター
副センター長(2015年3月迄)
2018年 酪農学園大学 獣医学類退職、
キャトル リサーチ センター(CRC)を設立

1.はじめに

プロトセカは単細胞の藻類であり、土壌と下水、家畜(牛、豚など)や野生動物(鹿、ネズミ、ウサギなど)の便、畜舎床などの自然界に広く分布しています。プロトセカの中で、動物に病原性を示すのは2種類であり、牛の乳房炎の原因となるのがプロトセカ・ゾフィー(*P.zopfi*:PZ)です。PZ感染による牛の乳房炎の最初の報告は1952年(ドイツ)であり、それ以来、ヨーロッパや米国、カナダ、南米、南アフリカ、アジアで発生しています。日本では1980年(兵庫県)が初発例であり、その後各地において散発あるいは集団発生が報告されています。

プロトセカ乳房炎はPZの乳房内における限局性の慢性感染が主ですが、全身に感染して死亡した例もあります。プロトセカ乳房炎の発生群におけるPZの検出率は5~25%(泌乳牛)であり、乳体細胞数(SCC)の増加と乳量の減少のリスクになります。また、プロトセカは藻類であることから有効な治療法がなく、プロトセカ乳房炎に罹患すると廃用になる例が多い。

2.感染経路

PZの汚染源は給水器、飼槽、牛床、便であり、湿度の高い牛床が大きな発生要因となり、搾乳器によってPZ感染牛から非感染牛に二次感染して感染が拡大します。発生牛群における環境施設からのPZの検出率は47%であり、非発生牛における20~70%の便からもPZが検出されます。

3.症状

プロトセカ乳房炎の発現時期は、分娩後30日以内であり、

複数乳房が罹患する例が多い。体温は39℃以上の微熱を呈するが、心拍数と呼吸数は正常で、食欲の減退もみられません。プロトセカの罹患乳房は腫脹と硬結、軽度の熱感が観察され、SCCは40万/mL以上に増加して、凝塊(ブツ)の排泄とCMTの陽性化が認められます(写真1、写真2)。



写真1:プロトセカ感染で硬結・腫脹した後乳房



写真2:乳汁の著しい凝塊(ブツ)

4.乳汁培養所見

(1)肉眼所見

血液寒天培地に培養すると、培養24時間目に微少コロニーが認められ、36時間目には灰白色の扁平な不定形コロニーが観察されます(写真3)。コロニーを少量の滅菌蒸留水に混入させると凝集し、乾燥すると網目状を呈します。

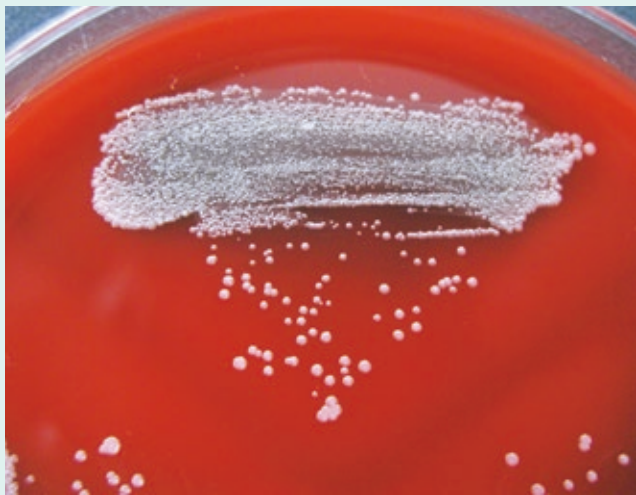


写真3:灰白色、扁平、大小不同のプロトセカのコロニー(血液寒天培地)

(2) 顕微鏡所見

スライドガラス上で、少量の滅菌蒸留水にコロニーを混入させ、カバーガラスをかけて鏡検すると、大小不同で類円形状のプロトセカ細胞が多数観察されます(写真4)。プロトセカ細胞は細胞壁を有し、細胞質は網目状で細胞の分裂を伴う2～8個の胞子内胞子の存在が確認されます。染色(グラム)を行うと、グラム陽性(濃青色)の大小不同の類円形のプロトセカ細胞とピンク色の嚢(外殻)が観察されます。

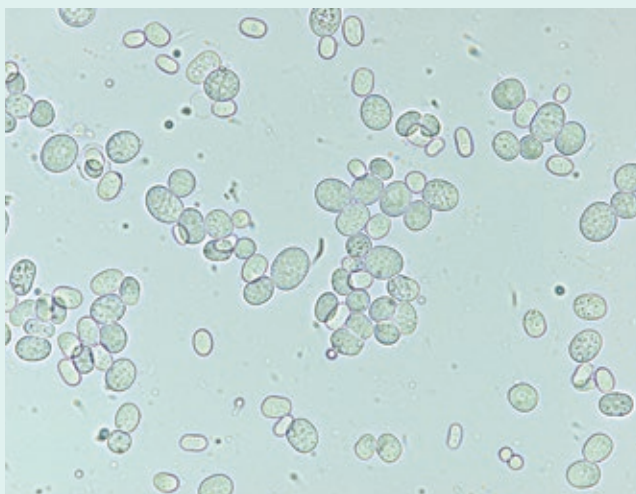


写真4:大小不同のプロトセカ細胞(顕微鏡写真)

5.抗体所見

PZに対する免疫抗体を検索したところ、血液と乳汁に特異抗体が存在することが証明されています。

6.病理学的所見

プロトセカ乳房炎の乳房断面は、硬く(肉芽腫様病変)、染色(PAS)を行って観察すると、乳腺腔内に大小不同の好酸性の核を持つプロトセカ細胞が確認されます。

7.治療

プロトセカ乳房炎に対する治療法としては、早期にカナマイシン1～2gを加えた生理食塩液500mLの乳房内注入(写真5)が有効ですが、慢性化した乳房炎では大きな期待はできません。著者はトリアジン系除藻剤による治療を試みていますが、確立された治療法はありません。



写真5:カナマイシン加生理食塩液の乳房内注入

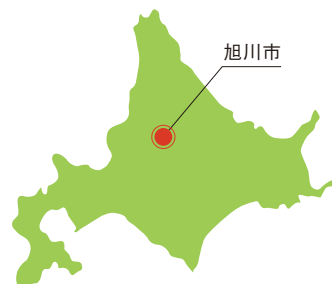
8.予防

PZの乳房感染は環境要因が大きく、牛床の湿度が関与していると言われています。また長期間の抗生物質による菌交代症や分娩ストレス、生体防御能の低下が発生誘因になります。

予防は飼養環境下に存在するPZの乳房・乳頭への汚染の軽減であり、牛床の湿度の低下が重要です。また乾乳期にPZが乳腺腔内に侵入し、ストレスと生体防御能が低下する分娩後に発生する可能性もあり、乾乳期における牛床と乳房・乳頭の衛生管理が大切です。プロトセカ乳房炎の多発牛群において、乾乳ストールの清掃消毒を行った結果、その後発生がまったくなくなったという報告があります。搾乳器による感染牛から非感染牛への二次感染の防止も重要です。プロトセカ乳房炎は慢性経過を示す例がほとんどであり、特徴的な臨床症状がなく、細菌性乳房炎との類症鑑別が困難です。プロトセカ乳房炎の診断は、乳汁の培養によるPZの検出であり、発育時間、コロニー形状、顕微鏡下における細胞形態から確定可能です。乳房炎に対する早期の治療と予防対策の原則は、乳房炎を発病したら、必ず乳汁培養検査を行って早期に確定診断することです。

種雄牛への第一歩

道北事業所のある旭川の地に、将来の候補種雄牛となる雄子牛が全道各地から集まる牛舎（以下、育成牛舎）があります。今回は、当団の候補種雄牛がどのような過程を経て、この牛舎に来て、どのように巣立っていくのかをご覧くださいと思います。



牛舎の歴史



道北事業所の牛舎は元々種雄牛を繋養していたものであり、選抜された種雄牛が20頭収容できる独房の牛舎でした。平成17年、それを26頭が収容できる育成牛舎に改装しました。改装後、平成19年7月から平成20年2月までは3ヶ月齢で導入し、6ヶ月齢で十勝清水種雄牛センターに搬出していましたが、6ヶ月齢になるとばらつきなどが多くなるため、平成20年3月から3ヶ月齢で導入し、着地検疫を行った後、3週間後に十勝清水種雄牛センターへ搬出することとなりました。その移行期間中、旭川の育成牛舎と十勝清水種雄牛センター両方で導入を行っていましたが、さらなる衛生向上の観点から、一度旭川にて検疫を行った後搬出する今の形になりました。

現在は、当団エルダーパートナーである飯村氏とアルバイト1人の2人体制で、平日は飯村氏、土日は交代制で管理しております。飯村氏は平成19年の入団から現在まで15年間牛舎管理を支えていただいております。飯村氏が入団から現在まで携わった雄子牛は約2,400頭におよび、現在販売している種雄牛たちもちろん携わっています。どの雄子牛も生産者の方から受け継いだ大切な財産であり、管理も徹底して行っています。

1日のスケジュール



くつろぐ導入牛

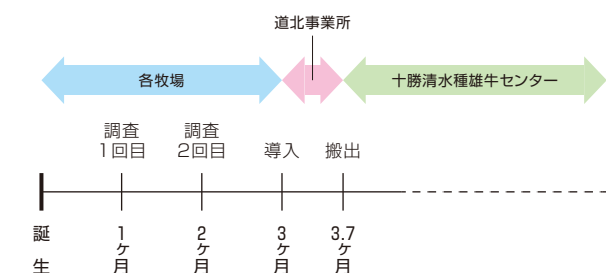
朝は7時半頃から健康チェックのための牛舎巡回が始まります。その際、体調の悪い牛や様子のおかしい牛がいないかを確認しながら、配合飼料、ルーサンペレット、乾草、添加剤を給与します。併せて除糞も行い、十分な量の敷料を入れ、ウォーターカップに慣れていない牛には水を出して飲水させます。一連の作業が終わると再度チェックを行い、餌を残していないか体調などにも気を配り、管理を行っています。給餌量も様々で雄子牛の体調や大きさなどで決めています。夕方同様の流れで作業に当たっています。乾草は購入したものを使用しており、1番草を主に給餌しています。

皮膚病を患った状態で導入される牛もあり、その対処も育成牛舎で行っており、完治した状態で十勝清水種雄牛センターに出せるよう心がけています。健康チェックの際に異常のある雄子牛に関しては、都度対応を行っており、深刻になる前に予防を行います。中には診療を受ける場合もあります。



配合飼料給餌

導入・搬出



導入されてくる雄子牛は2種類に大別されます。当団の優良遺伝資源造成事業卵（国内外）から生まれた受精卵産子（エリート卵産子）と、計画交配により生産された産子の2種類です。

その雄子牛たちは、3ヶ月間出生した牧場にて飼育され、ゲノムの検査や登録を行い、除角もその牧場で行っていただいております。生後1ヶ月以内に一度雄子牛の状態を本所乳牛改良課か事業所担当者が確認、さらに導入1ヶ月前にも再度確認し、何も問題がなければ育成牛舎に導入となります。

雄子牛たちが全道各地から導入される際に、併せて検疫作業を行います。当団の担当獣医や乳牛改良課の立会のもと、家畜車内での個体観察から始まり、

個別に育成牛舎内の柱に繋がります。その後、蹄の消毒、駆虫剤の散布、体温測定、ビタミンの経口投与、ワクチンの鼻腔点滴および筋肉注射、抗生物質の筋肉注射と続きます。着地の際の検疫として、採材した検体（糞便・血液）は上川家畜保健衛生所に検査を依頼しており、BVD、クリプトスポリジウム、コクシジウム、サルモネラ、牛伝染性リンパ腫の検査がなされます。採血やワクチン接種は当団担当獣医が行い、抗生物質の投与、肺や心臓の音の確認、へその緒、辜丸の確認も行います。その後、体高、十字部高、体重の3項目について測尺を行い、終わり次第あらかじめ決めてある独房内に繋ぎます。導入して1週間程度は慣れない場所ということもあり、スタンションや餌、ウォーターカップなどに戸惑うものの、搬出間際になると人が近づいても寄ってくるぐらいに慣れてきます。



搬入時の使用器具やワクチン・ビタミン類



家畜車より降車



蹄の消毒



駆虫剤散布



鼻腔からワクチン点滴



採糞



ビタミン経口投与



体温測定



ワクチンおよび抗生物質注射



心音確認



測尺



搬出の際は、前日か前々日に再度測尺、蹄の消毒を行い家畜車に積み込みます。導入、搬出共に大変お世話になっているのが主に永楽運輸の方々で、安全に道内各地～育成牛舎～十勝清水種雄牛センター間を運搬いただいております。

雄子牛の搬出後は、使用した独房をきれいにしなければなりません。敷料除去後は独房を洗車機にて丹念に水洗いを行います。ゴムマット、床、壁、スタンション、牛が触れたところ、糞がついているところを重点的に洗い流します。乾いたらゴムマットを敷き、壁やスタンション、通路などに石灰塗布を行い、常に清潔な状態を維持するよう努めています。すべてが終わった後の牛舎はあたり一面真っ白な世界で圧倒されます。この作業を1週間以内に終わらせ、次に導入してくる準備も整え、1ヶ月のサイクルが完成し、年に12回の導入となります。



除糞作業



水洗い



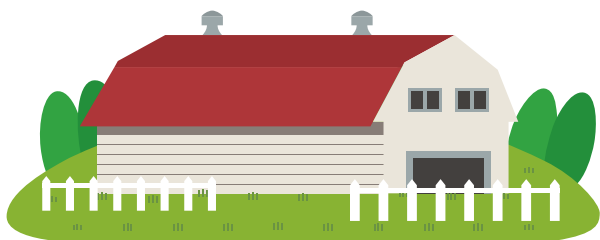
水洗い作業後



石灰塗布



石灰塗布後



搬入前牛舎内



敷料乾草入れ後

最後に



道北事業所に配属されて以来導入、搬出に関わり、個人的にはすべての種雄牛を確認できることをありがたく思っておりましたが、まだまだ内容の理解不足があり、ここまでの導入方法の変遷を知りませんでした。今回それらを知ることができた良い機会となりました。候補種雄牛となるすべての雄子牛がこの育成牛舎から巣立ち、後代検定を終えて、選抜後(約5年後)には検定済み種雄牛として皆さまのお手元にお届けできるまで、色々な人の手を経て、様々な想いを背負って、成り立っていることを再認識できました。この記事を通じて少しでも皆さまに種雄牛になるためのプロセスの一環を伝えられたらと思っています。

(道北事業所 大森 健朗)

鹿児島全共を目指して

～鹿児島県鹿屋市輝北町 石神農場～

鹿児島県鹿屋市

大隅半島のほぼ中央に位置する鹿屋市は、人口約10万人、鹿児島市と霧島市に次ぐ鹿児島県内で3番目の規模の都市です。鹿屋市北部には標高1,000m以上の山々が連なる高隈山系、西部には日本百景に選ばれた錦江湾、南部には神代三山陵の一つ吾平山があり、豊かな自然に囲まれています。平均気温17度という年間を通して温暖な気候で、サツマイモや落花生の生産が盛んです。また、肉用牛、豚、乳用牛の飼養頭数は鹿児島県内1位を誇り、中でも肉用牛は農業産出額の4割を占める重要な産業です。

今回、その鹿屋市で黒毛和牛の生産を行っている石神農場の3代目康伸さんに取材させていただきました。



石神康伸さんご家族

石神農場

石神農場は康伸さんの祖父虎彦さんが戦後入植し、肉用牛の生産を始めました。昭和52年に2代目芳夫さんが農協の経営安定事業を活用し肥育を開始、平成16年からは企業牧場の預託を行っています。康伸さんは平成31年にJAを退職後就農し、3代目として尽力されています。



親牛舎



育成牛舎



繋牧牛舎

現在のご家族4人で繁殖牛50頭、育成牛12頭、肥育牛170頭を飼養されており、芳夫さんは肥育全般、お母様と叔父様は子牛（離乳まで）とドーム牛舎（※1）、康伸さんは育成、子牛（離乳後）、授精、削蹄と分担されています。牛温恵や分娩監視カメラを導入し、発情発見、管理に役立てています。

預託で飼養する素牛は北海道産の牛も多く導入されています。同じ企業牧場の預託牧場が北海道にあり、そちらから素牛を導入しています。H黒-246 第1花藤、H黒-261 美津利奈、H黒-262 鈴音、H黒-264 勝吾の産子などが肥育されており、北海道産の素牛は強健性がある成績が良いとおっしゃっていました。



肥育牛舎



※1 パドックに屋根がついたもの。平成11年頃に曾於郡で考案され普及。採光性牛舎、パドック型牛舎ともいわれる。堆肥出しが少なくて済み、省力化が可能。



第1花藤産子



美津利奈産子



鈴音産子



勝吾産子

共進会

石神農場では共進会にも積極的に取り組まれています。鹿児島県畜産共進会でも輝かしい成績を残されています。

次の目標は今年10月に鹿児島県で開催される第12回全国和牛能力共進会です。第2・3区(若雌1・2)、第6区(総合評価群)の対象牛を導入、自家保留されています。今後行われる地区予選をくぐり抜け全共に出場することを目指しておられますが、石神農場のある曽於地区は「曽於を征するものは県を征する、県を征する者は全国を征する」と言われるほどの激戦区。候補牛は毎日洗ってブラッシングし、つなぎ運動や引き運動、長つなを用いた調教も行なうなど、地区予選に向けて準備されています。

鹿児島県畜産共進会 受賞歴		
平成11年	鹿児島県肉畜共進会 (生体)	6席
平成21年	若雌1区	2席 資質品位賞
平成27年	若雌1区	9席
平成28年	若雌1区	2席 種牛性賞
令和元年	若雌1区	優秀賞



つなぎ運動



ゆりはな(華忠良×百合茂×金幸福)



とっておき(華忠良×諒太郎×美国桜)



いしずえ(華忠良×安福久×華春福)

今後の目標

令和3年夏頃から一部自家授精を行っており、受胎率の向上に取り組まれています。また、現在の分娩監視カメラは有線ですが、外出時などでもスマホで確認できるよう無線化したいそうです。

粗飼料の確保も課題だと感じておられます。鹿児島県では農地集約が進んでおらず、1枚当りの畑の面積も北海道ほど広くありません。粗飼料価格が高騰しているため、生産費を削減すべく自家産の粗飼料をいかに増やすか悩んでおられます。

また、肥育農家の方に喜ばれる牛づくりを意識されており、尾枕(※2)が付いておらず、飼いなおしの必要がない、のびのびと育った素牛をつくらせたいとおっしゃっていました。

※2 尾の付け根に付着した脂肪。内臓脂肪のパロメーターといわれる。

最後に

これまで何度もご両親と共に挑み続け、あと一步のところまで叶わなかった全共出品。康伸さんは「今回はその夢を現実でできそうな牛と出会うことができました。この牛に出会えたこと、応援して下さる地域の方々、すべてのご縁に感謝し、長年の夢である『全共日本一』を叶えるべく、日々精進します。」とおっしゃっていました。

10月、康伸さんと鹿児島でお会いできることを楽しみにしております!ご多忙の中、快く取材を受けていただきました石神農場様に心より感謝申し上げます。

第12回全共鹿児島大会
マスコットキャラクター
かごしまママ



第12回 全国和牛能力共進会
和牛フェス in かごしま 2022
～和っ!と驚く美味さが牛っ!と詰まった和牛の魅力を鹿児島から～



ジェネティクス北海道 新人紹介



生産技術部

こう い へい
黄 偉平

- 生年月日:1982年5月7日
- 出身地:中国黒龍江省ハルビン市
- 出身校:北海道大学
- 趣味:料理、旅行

4月1日生産技術部十勝清水種雄牛センターに配属された黄偉平と申します。出身地は中国黒龍江省ハルビン市です。

中国の東北農業大学獣医学部を卒業し、鳥取大学に交換留学生として留学した後、同大学大学院獣医研究科修士課程を修了しました。さらに、北海道大学大学院獣医研究科博士課程を修了しました。その後、中国の安徽農業大学獣医学産科研究室に講師として勤務したり、日本AGエンブリオサポート株式会社に勤めたりしました。長年にわたる牛の繁殖に関する研究活動をしながら、牛の体内・体外受精卵の製造等の業務を行っております。

食べることが大好きなので、自分でいろいろな中華料理を美味しく作ることができます。また、家族と一緒に日本の各観光地へ旅行することをとても楽しみにしています。



十勝清水種雄牛センター 生産課

やま ね けい こ
山根 慧悟

- 生年月日:1997年4月23日
- 出身地:広島県安芸郡府中町
- 出身校:帯広畜産大学大学院
- 趣味:釣り

4月1日より十勝清水種雄牛センター生産課に配属となりました、山根慧悟です。

広島出身でカープファンです。中学から大学までは剣道部に所属していました。

生き物全般に興味があったため帯広畜産大学に進学し、ハンガリーの国宝に認定されているマンガリッツアブタの精巢発達に関する研究を行っていました。畜種は異なりますが、北海道で畜産に関わる仕事がしたいと考え、当団に入団いたしました。

まだまだ勉強することばかりですが、皆さまの家畜改良のお手伝いができるよう日々精進いたしますので、どうぞよろしくお願いいたします。



十勝清水種雄牛センター 種畜管理課

たま い わたる
玉井 航

- 生年月日:2001年8月15日
- 出身地:北海道函館市
- 出身校:北海道立農業大学校
- 趣味:サイクリング、スキー、釣り、ドライブ、料理

4月1日より十勝清水種雄牛センター種畜管理課に配属されました玉井航です。

小さい頃から動物が好きで、将来の夢は動物園の飼育員になることでした。高校時代はサフォークをメインに勉強しながら家畜審査競技大会に参加し、黒毛和種の部門で全国大会に出場しました。大学時代は黒毛和牛について勉強し飼養管理や全国和牛能力共進会に向けた活動に参加してきました。

牛自体は大学時代から関わってきましたが、種雄牛に関わるのは初めてなので分からないことばかりですので、これから技術面と知識、両方を学んでいこうと思います。

ご迷惑をお掛けすることもあるかと思いますが、一日でも早く当団の力となれるよう一生懸命頑張っていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。



道東事業所
業務課

いま い ふ さえ
今井 風牙

- 生年月日: 1999年9月28日
- 出身地: 群馬県板倉町
- 出身校: 酪農学園大学
- 趣味: YouTube鑑賞、ドライブ

4月より道東事業所に配属となりました今井風牙です。

高校は普通科でしたが牛に携わりたく酪農学園大学に入学しました。ゼミ活動では肉用牛の一般管理や繁殖管理について関わり色々な経験することができました。

家畜繁殖について勉強しその奥深さと面白さを知り、家畜育種・繁殖に携わりたく当団に入団しました。多くの経験を積むこと、知らなかった知識に触れることがとても楽しみです。

道東に来たのは今回が初めてなので、休日は車で色々なところを見て回り、美味しいものをたくさん食べたいです。

これから多くの専門知識を身に付け、1日でも早く当団職員として皆さまのお役に立てるよう日々努力してまいりますので、ご指導よろしくお願いいたします。



道央広域事業所
業務課

なか むら たく と
中村 拓斗

- 生年月日: 1999年10月27日
- 出身地: 北海道標茶町
- 出身校: 酪農学園大学
- 趣味: 野球、ドライブ

4月1日より道央広域事業所に配属されました中村拓斗です。小学校から大学までずっと野球をしておりポジションはショートを守っていました。休日には基本的に家の中にいることが嫌いなので、天気の良い日には山、川、海のどこかにいることが多いです。

高校は標茶高等学校に通っていました。高校在学中授業の一環で牛に関わる機会が少しあり、牛に興味を持ち酪農学園大学に入学しました。大学時代は市場で牛引きのアルバイトをしていました。高校や大学で牛に関わり、もっとこの業界に深く携わりたいと思い入団いたしました。

実家は非農家で知識や経験共に不十分なため皆さまにご迷惑をおかけすることもあると思いますが、一日でも早く当団の戦力になり、生産者の皆さまのお役に立てるよう精一杯努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

ジェネティクス北海道の交配相談サービス



GenFIT

改良のトレンドや次世代の近交係数も一目でわかります！
遺伝病の発症やハプロタイプのホモ化も自動的に回避！

ぜひお近くの事業所までご連絡ください！(GenFITは無償で提供しております)



◀当団HPにGenFITの詳しい情報やご利用者さまの声を掲載しております。ぜひご覧ください！



◆NTP 第1位 +3596 (2021.12評価) ◆第17回北海道総合家畜共進会 (2019.未經産)

第1部 Jサイアカーフクラス 1等1席



オムラストーンハートブーティー LOG4WA
枝幸町/小椋 義則 氏 所有



好体型&良肉質

JP3H58010

BOOTEE

ALTAHOTROD × BALISTO × NIAGRA

GNT **No.1** +2,737

GH-X ♀



第1位

当団供用種雄牛
脂肪交雑

H黒-293

英貞

勝早桜5 × 百合茂 × 安糸福



Show&Index

■肥育者帯広市/（有）ダイマルファーム様
■血統英貞 × 直太郎 × 安福久
■枝肉重量 577 kg
■ロース芯面積 797 cm²
■去勢 28ヶ月齢

R4.1.8 ホクレン十勝枝肉市場

BMS No.12
格付:A-5



一般社団法人
ジェネティクス北海道
GENETICS HOKKAIDO assoc.
〒060-0004 札幌市中央区北4条西1丁目1番地 北農ビル13F
<https://www.genetics-hokkaido.ne.jp>



@gh_assoc
@genetics.hokkaido
@gh_assoc
ジェネティクス北海道

事業推進部

〈情報企画課〉
TEL(011)242-9645
FAX(011)242-9651
〈乳牛改良課〉
TEL(011)242-9646
〈肉牛改良課〉
TEL(011)242-9647
●道北事業所…………… TEL(0166)57-6111 FAX(0166)57-6113
●道東事業所…………… TEL(0153)72-4554 FAX(0153)72-1325
●道央広域事業所 道央 TEL(011)375-4422 FAX(011)375-4411
広域 TEL(011)375-4395(都府県 担当連絡先)
●十勝北見事業所…………… TEL(0156)63-3838 FAX(0156)63-3839
●十勝清水種雄牛センター… TEL(0156)62-2158 FAX(0156)62-2150
●道央種雄牛センター… TEL(011)375-3939 FAX(011)375-2330